

Date: Wed, 07 Nov 2012 17:40:15 +0900  
From: (行) 甲子園法務総合事務所 <npo@ii-support.jp>

=====

■■■ NPO助成金メール通信 ■■■

2012年11月号 (第95号)

～2012年11月・12月募集締め切りの助成金情報をお届けします！～

発行：行政書士法人甲子園法務総合事務所

=====

会費・入会金、寄付金、事業収入とともにNPO法人の大切な収入源となっているNPO法人向け助成金を毎月紹介するメール通信です。

助成金の情報はかなり流動的であり、今まであった助成金が今年もあるとは限りません。助成金の情報自体も「どこに公開してあるのか」「募集期間はいつなのか」等、一般の方には不明瞭な点が多いため、当事務所でNPO法人を設立された方及び顧問契約を結ばれている方に対して2005年1月から電子メールにて毎月助成金情報を提供させていただいております。

なお、助成金は「申請すれば絶対に給付される」というものではありません。その点をご理解頂き、この助成金情報をご利用下さい。

※この「助成金メール通信」は下記条件にあてはまる方に送信させて頂いております。

甲子園法務総合事務所にNPO法人設立を依頼された方  
法人設立後から3ヶ月間  
甲子園法務総合事務所と顧問契約を結ばれている方  
顧問契約期間中

助成金メール通信 11月号 目次

1. オススメ助成金情報 (全14件)
2. 2012年11月締め切り分助成金追加情報 (全4件)
3. 2012年12月締め切り分助成金情報 (全14件)
4. 随時募集している助成金
5. NPO法人向け融資制度のお知らせ

◆◆◆ 1. オススメ助成金情報 ◆◆◆

過去のメール通信でお伝えした注目度の高い助成金をピックアップして取り上げます。今回は14団体紹介いたします。

<随時募集の助成金です>

世界的大企業があなたのNPO活動をIT面でサポートします！  
うまく活用すれば弊社へ支払ったNPO設立依頼料をアツという間に補うことが可能な助成内容です！！

「ウイルス対策ソフトが数百円」「オフィスソフトが数千円」「最新OSが数百円」などなど・・・金額設定の桁を間違えたのか？と思えるこの内容。

しかも毎年申請できます！

提供ソフトも1本、2本の単位ではありません。「シマンテックは100ライセンスまで可」「マイクロソフトは50ライセンスまで可」・・・

日本の助成団体の助成金とは規模が根本的に異なります！

今すぐあなたの目で確認してみてください！！

●助成金名称

特定非営利活動法人日本NPOセンター：PCソフトウェア寄贈プログラム

●HPのURL

<http://www.techsoupjapan.org/>

●助成対象

アドビシステムズ、シマンテック、マイクロソフトのソフトウェア寄贈を、一定の条件を満たした非営利団体にオンラインで仲介するプログラムです。ソフトウェア提供企業が独自に定めた条件に合っていることが助成の条件となります。

・アドビシステムズの条件

[http://www.techsoupjapan.org/eligibility\\_criteria/adobe\\_eligibility\\_criteria](http://www.techsoupjapan.org/eligibility_criteria/adobe_eligibility_criteria)

・シマンテックの条件

[http://www.techsoupjapan.org/eligibility\\_criteria/symantec\\_desktop\\_eligibility\\_criteria](http://www.techsoupjapan.org/eligibility_criteria/symantec_desktop_eligibility_criteria)

・マイクロソフトソフトの条件

[http://www.techsoupjapan.org/eligibility\\_criteria/microsoft\\_eligibility\\_criteria](http://www.techsoupjapan.org/eligibility_criteria/microsoft_eligibility_criteria)

●対象地域

日本全国

●助成金額

定価の10%以下の料金でソフトウェアが購入できます

●募集期間

随時募集

<応募分野が限定されておらず、多くの団体が申請できる助成金で、助成金額が大きくお勧めです>

◎助成金名称

公益財団法人トヨタ財団：2012年度国内助成プログラム「一般枠」

◎HPのURL

<http://www.toyotafound.or.jp/program/community.html>

◎助成対象

<活動助成>

- ・地域に生きる人々が主体となり、地域社会の再生・振興に向けて、地域課題の解決に具体的に結びつく、意欲的な取り組み
- ・領域・分野（医療・福祉、教育、まちづくり、文化、教育、災害支援等）を問わない。

<地域間連携助成>

- ・同じ課題を抱える地域や、既にノウハウをもつ地域の住民・団体が連携し、共に課題解決に取り組むことで、地域間の持続的なつながりや協力関係の創出につながるもの
- ・成果が社会に広く波及することが期待される取り組み

・プロジェクトの実施主体に実績があり、活動の理念が明確なこと

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

<活動助成>

1年間上限300万円/件（2年間上限600万円）

助成総額は6000万円

<地域間連携助成>

上限1000万円/件

助成総額は2000万円

◎募集期間

2012年10月9日～2012年11月19日まで

●助成金名称

郵便事業株式会社 年賀寄附金事務局：平成25年度年賀寄附金配分助成申請公募

●HPのURL

<http://blog.post.japanpost.jp/csr/2012/08/12083125.html>

●助成対象

年賀寄附金の配分は、公益活動を行う団体の福祉・人材育成・普及啓発・イベント又は新規事業等の“活動”を支援する「活動・一般プログラム」及び「活動・チャレンジプログラム」並びに団体の事業をより効率的・効果的に実施するために必要な“物資購入等”を支援する「施設改修」、「機器購入」及び「車両購入」という分野に対して行われます。

<活動分野>

「お年玉付郵便葉書等に関する法律」に定められた次の10の分野の事業を行う団体を対象とします。

(ア) 社会福祉の増進を目的とする事業

(イ) 風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業

(ウ) がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業

(エ) 原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業

(オ) 交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業

(カ) 文化財の保護を行う事業

(キ) 青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業

(ク) 健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業

(ケ) 開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業

(コ) 地球環境の保全を図るために行う事業

※特別枠の「東日本大震災の被災者救助・予防（復興）」については、上記（イ）の事業のうち、特に「東日本大震災による被災者の救助又はその予防（復興）を目的とする事業」を対象とします。

●対象地域

日本全国

●助成金額

活動・一般プログラム：上限500万円  
活動・チャレンジプログラム：上限50万円  
施設改修：上限500万円  
機器購入：上限500万円  
車両購入：上限500万円  
東日本大震災の被災者救助・予防（復興）：上限500万円

●募集期間

2012年10月1日（月）～2012年11月30日（金）まで

●助成対象者決定時期

2013年3月末頃に決定

◎助成金名称

公益財団法人大阪コミュニティ財団：2013年度助成

◎HPのURL

[http://www.osaka-community.or.jp/contents/grant/grant\\_guide.htm](http://www.osaka-community.or.jp/contents/grant/grant_guide.htm)

◎助成対象

1年以上の活動実績を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）が、2013年4月1日から2014年3月31日までの間に、実施を予定している公益に資する事業。

◎対象地域

対象地域の指定の記述がない限り、日本全国・海外が対象となります。

◎助成金額

下記分野に助成しています

<難病対策・医療患者支援>

<青少年の健全育成>

<社会教育・学校教育の充実>

<芸術・文化の発展・向上>

<多文化との共生・開発途上国への支援>

<環境の保護・保全>

<地域社会の活性化>

<東日本大震災等復興活動支援>

<健康増進、健全育成の支援>

<動物の訓練、支援活動>

<公益法人の振興・発展>

<社会福祉の増進>

◎募集期間

2012年11月30日（金）まで ※締切日の消印有効

◎助成対象者決定時期

2013年3月に開催する理事会において、最終的に助成先及び助成金額を決定します。

選考の結果は、決定後直ちに申請者（代表者）に文書で通知します。

<環境活動に関する助成金で、助成金額が大きくお勧めです>

●助成金名称

公益信託コープこうべ：環境基金平成25年度助成先募集

●HPのURL

<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/pdf/protection-01a.pdf>

●助成対象

兵庫県内の自然公園等におけるすぐれた自然環境の保存及び活用に関する実践活動、普及啓発活動等を助成し、人間が平和で健康的で豊かな生活を享受できる自然環境の保全に寄与することを目的とします。

< A. 実践活動部門 >

兵庫県内での自然環境保護活動、あるいは自然環境保全のための啓発活動。

< B. 自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門 >

兵庫県内の適切な自然環境保全促進のために行う、以下のような実証的調査・研究

●対象地域

兵庫県愛

●助成金額

A. 実践活動部門：5～20万円程度

B. 自然環境保全に向けた実証的調査・研究部門：上限50万円

募集区分 A B 合わせて総額300万円（20団体程度）

●募集期間

2012年10月15日（月）～2012年11月30日（金）まで ※締切日必着

●助成対象者決定時期

2013年3月に選考結果を書面にてお知らせします。

◎助成金名称

公益社団法人日本河川協会：「きれいな川と暮らそう」基金平成25年度募集

◎HPのURL

<http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/index.htm>

◎助成対象

きれいな川、親しめる川と共に暮らすため、川や水辺で活動を行っている学校や市民団体に対し、活動資金を助成します。

< 支援対象活動 >

水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

最大100万円／団体

◎募集期間

2012年7月7日～2012年11月30日まで ※当日消印有効

◎助成対象者決定時期

採否並びに助成金額は、2013年3月下旬に決定し、書面にて結果をご連絡いたします。

●助成金名称

公益社団法人日本河川協会：第15回（2013年）日本水大賞

●HPのURL

<http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>

●助成対象

水循環系の健全化や水災害に対する安全性の向上に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

- (1) 水防災：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
- ・水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する（ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る）
  - ・雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す
  - ・河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発・普及
- (2) 水資源：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
- ・水を大切にす
  - ・山や川などの水源地を大切にす
- (3) 水環境：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
- ・川や湖沼、海などの水をきれいにす
  - ・水辺の生き物やそのすみかを大切にす
  - ・水辺や水のある地域づくり
  - ・水にかかわる体験活動、環境学習
- (4) 水文化：例えば、以下の視点などから実施される諸活動
- ・水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める
  - ・水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりす（芸術、文学を含む）
  - ・地域における水文化を発掘したり普及す
- (5) 復興支援：上記の（1）から（4）に該当する諸活動のうち、地域の復興支援の視点から実施されるもの

●対象地域

日本全国

●助成金額

1. 大賞【グランプリ】（賞状・副賞200万円）

2. 大臣賞（賞状・副賞50万円）

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】【農林水産大臣賞】

【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】

各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

3. 民活動賞【読売新聞社賞】（賞状・副賞30万円）

4. 国際貢献賞（賞状・副賞30万円）

5. 未来開拓賞（賞状・副賞10万円）

6. 審査部会特別賞（賞状・副賞10万円）

●募集期間

2012年7月7日～2012年11月30日（郵送の場合は当日消印有効）

●助成対象者決定時期

審査の結果は、2013年3月下旬に公益社団法人日本河川協会のホームページおよび新聞紙上にて公表する予定です。入賞者には個別にご連絡いたします。

◎助成金名称

三井物産株式会社：三井物産環境基金2012年度活動助成（一般助成）

2012年度下半期 活動助成（復興助成 第2回）・研究助成（復興助成・一般助成）

◎HPのURL

[http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/application/recruitment2012\\_2.html](http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/application/recruitment2012_2.html)

◎助成対象

<活動助成（復興助成 第2回）>

東日本大震災（長野県北部地震を含む）の被災により発生した環境問題の改善・解決、及び被災した地域における地球環境に配慮した持続可能な社会の復興・再生を行う活動・研究で、下記対象分野に関わるもの。

<研究助成（復興助成・一般助成）>

一般助成：地球環境問題の解決と持続可能な社会構築に貢献する活動・研究で、下記対象分野に関わるもの。研究助成は、問題解決型研究及び学際・総合/政策研究であることが必須条件。

※※対象分野※※

1. 地球気候変動問題、
2. 水産資源の保護・食料確保、
3. 表土の保全・森林の保護、
4. エネルギー問題、
5. 水資源の保全、
6. 生物多様性および生態系の保全、
7. 持続可能な社会の構築

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

1 案件当たりの助成金額上限は設定しません。但、当該案件を効率的に実施するために必要な金額の範囲内とします。

◎募集期間

2012年11月30日（金）まで ※消印および宅配便受付印有効

◎助成対象者決定時期

最終的な選定結果は2012年9月中に申請代表者にご連絡します

●助成金名称

日本郵便株式会社：平成25年度及びカーボンオフセット年賀寄附金

●H PのU R L

<http://blog.post.japanpost.jp/csr/2012/09/120905qa.html>

●助成対象

日本国内で地球環境の保全を行う事業であり、その事業にカーボン・オフセット活動を含み、またオフセット・クレジットの取得・無効化を行う事業であること。

●対象地域

日本全国

●助成金額

助成金額は上限500万円です

●募集期間

2012年10月1日（月）～2012年11月30日（水） ※当日消印有効

<東日本大震災及び防災に関する助成金で、助成金額が大きくお勧めです>

◎助成金名称

株式会社フェリシモ：とうほくIPPOプロジェクト第2期募集

◎H PのU R L

[http://www.felissimo.co.jp/company/cfm/001.cfm?ID=1407-406&iid=p\\_fc\\_120626\\_THKIPPO](http://www.felissimo.co.jp/company/cfm/001.cfm?ID=1407-406&iid=p_fc_120626_THKIPPO)

◎助成対象

東日本大震災に対する息の長い復興支援の必要性から、女性による東北の産業復興を支援する「とうほくIPPOプロジェクト」を発足しました。

責任者、主体者メンバーが女性であることを条件に、事業提案を公募し、審査の結果選ばれた個人・団体に支援金を支給して、被災地の産業復興のきっかけづくりにつなげていきます。被災地に密着した取り組みであれば、支援対象者は東北在住に限りません。

これからの時代はますます女性の感性を活かした生活や社会が求められています。そして女性が主体的に社会に働きかけたり、生活の起業家として活躍する例が増えてきています。フェリシモは事業を通じてたくさんの女性のお客さまとの関係を育みながら、そういった女性を応援してきました。女性が活躍することで、家族を元気にし、地域を明るく変え、社会を生き生きとさせていくような連鎖反応を期待して支援の対象を女性としました。そんな女性たちがこれから未来に向かって進んでいく最初の「一歩」となることを願って、「とうほくIPPO（いっぽ）プロジェクト」と命名しました。

#### <対象者>

被災地の産業復興支援に貢献するアイデアと実行力を持つ女性（東北在住の個人・団体に限りません）

#### <対象となる活動>

東日本大震災による被災地（人々、街、産業）を元気にする事業活動

※対象を「事業活動」にした理由について

事業活動は継続性、発展性が原則です。事業活動であることは、なんらかの利益を産み出すことであり、その利益が事業の維持、拡大、発展を可能にします。このプロジェクトによる支援によって生み出される事業が、一過性のものではなく、そこに関わる人々の元気となり、未来を創造し、さまざまな発展を遂げ継続していくことを期待し、対象を事業活動としました。

#### <審査ポイント>

当プロジェクトの趣旨に沿うこと、実行が可能なことを前提に、事業としての「実現性」、「継続性」、「発展性」を審査させていただきます。

#### ◎対象地域

日本全国

#### ◎助成金額

原則として1対象につき30万円前後～最大300万円までを上限として、第1期分、第2期分で合わせて約5000万円分の規模を予定

#### ◎募集期間

2012年8月1日（水）～2012年11月30日（金）まで ※当日消印有効

#### ●助成金名称

公益財団法人JR西日本あんしん社会財団：平成25年度活動助成

#### ●HPのURL

<http://www.jrw-relief-f.or.jp/aid/index.html>

#### ●助成対象

#### <助成対象活動>



事故、災害が起こった際の備えに関する活動

又は

事故、災害が起こった後の心のケアや身体的ケア等に関する活動

※上記テーマにおいて、地域コミュニティ形成に向けた新たな仕組みづくりや関係づくりなど、地域における連携やつながりを重視する活動を歓迎します。

※専ら事故、災害に関する活動のみならず、それらに関連する活動も助成対象となります。

●対象地域

近畿2府4県（京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県）

●助成金額

- ・1件あたりの助成金額：5万円以上100万円以下
- ・助成金総額：「平成25年度公募助成（活動・研究）」総額で3500万円程度を予定

●募集期間

2012年10月1日（月）～2012年11月30日（金）まで ※締切日必着

●助成対象者決定時期

2013年3月頃の理事会で助成先及び助成金額を決定します。

<文化財・歴史的建造物保存に関する助成金で、助成金額が大きくお勧めです>

◎助成金名称

公益財団法人住友財団：

日本国内の文化財維持・修復事業助成・海外の文化財維持・修復事業助成

◎HPのURL

<http://www.sumitomo.or.jp/>

◎助成対象

「心の豊かさ」を考えると、文化財は心豊かな生活の源となるとともに新たな文化の創造の基礎となるものです。

また相互理解の基盤として自国及び他国の文化に対する認識を深め、相互の文化交流の歴史を知るには、文化財に接することがきわめて有効な方法となります。これらの点から、文化財を保存して、次の世代に継承していくことは、今の世代の責務と考えます。

しかしながら、現在わが国において文化財の維持・修復に充てられる費用は、必ずしも十分とは言えない状況にあります。

この助成は、文化財保護の一助として、日本国内にある文化財（美術工芸品<絵画・彫刻・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料>）の維持・修復事業を対象に、助成を行うものです。

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

助成金の総額：7000万円程度

助成件数の目処：30件程度

◎募集期間

2012年10月1日～2012年11月30日まで

<高齢者・障害者福祉の向上に関する助成金で、助成金額が大ききお勧めです>

●助成金名称

公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団：福祉住宅建築支援

●HPのURL

<http://www.normalize.or.jp/enterprise/welfare/>

●助成対象

対象物件：原則として平成23年1月以降に工事が完了した物件

対象者：福祉住宅（個人住宅）や福祉小規模集合住宅として新築またはリフォームした建築主

●対象地域

日本全国

●助成金額

1件あたり5万円～最高30万円まで（ただし、総額300万円の範囲内）

●募集期間

2012年5月1日～2012年11月30日まで ※締切日必着

<途上国支援・ボランティアに関する助成金で、助成金額が大ききお勧めです>

◎助成金名称

一般財団法人ひろしま・祈りの石国際教育交流財団：国内団体助成事業

◎HPのURL

<http://www.peace-stone.org/j-Guideline2012.pdf>

◎助成対象

途上国等の子ども達を対象とする教育に係わる事業に関して助成を行います

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

事業総所要資金の85%を助成の上限（自己資金15%以上）とし、申請金額の上限は150万円とする。

◎募集期間

2012年10月1日～2012年11月30日まで

◎助成対象者決定時期

2013年2月頃に助成先を決定。2013年3月に助成金支給予定

◆◆◆ 2. 2012年11月締め切り分助成金追加情報 ◆◆◆

先月配信いたしました11月募集締め切りの助成金の追加情報を配信いたします。  
全部で4団体あります。

●助成金名称

公益財団法人さわやか福祉財団：2012年度『連合・愛のキャンパ』助成

●HPのURL

<http://www.sawayakazaidan.or.jp/news/2012/20121004.html>

●助成対象

新たに始める、地域における「ふれあい・助け合い活動」

高齢者・子ども・しょうがい児(者)を含めた地域ぐるみの助け合い・支え合い活動

※既存活動の継続は対象としません

●対象地域

日本全国

●助成金額

上限15万円まで（27団体を目途に助成）

●募集期間

2012年10月5日～2012年11月26日まで ※当日必着

●助成対象者決定時期

選考結果は2012年12月末を目途に文書の郵送をもって通知

◎助成金名称

公益財団法人三井住友海上文化財団：文化の国際交流活動に対する助成

◎HPのURL

<http://www.ms-ins.com/cultural/assist/index.html>

◎助成対象

地域における文化の振興のため、音楽・郷土芸能の分野で、有意義な国際交流活動をおこなうアマチュア団体に対し助成金を贈呈します。

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

1活動につき50万円を助成します。

◎募集期間

2012年11月30日まで

●助成金名称

財団法人河川環境管理財団：平成25年度 河川整備基金助成事業

●HPのURL

<http://www.kasenseibikikin.jp/info/page.php?id=36>

●助成対象

<1. 川と人々のかかわりを深めるための河川愛護活動・河川環境学習・人材育成>

川と人々のかかわりと河川・ダム等への理解を深めることを目的に行う。

- ・魅力ある川にするための河川清掃活動、水質改善活動、多様な生態系の復活活動など
  - ・川に関する工学的・生態学的知識、利用上のルール、増水時の危険性などの川に関連した広範な知識・情報を提供し理解を深めるためのセミナー、ワークショップの開催、教材づくりなど
  - ・「子どもの水辺」での活動を推進するために必要な経費など
  - ・川の体験学習講座の開催など
  - ・上記のような川に関する種々の活動を継続するための指導者やコーディネーターの育成、能力向上のための講習会開催など
  - ・人材育成を目的として行う河川技術等の講習会など
- 等の活動に助成します。

<2. 防災ボランティア等の活動>

防災ボランティアのネットワーク形成など平常時からのボランティアの仕組み・体制づくり

<3. 水害対策に係わる活動>

水害の起こり方や災害に備えた知識の普及、避難ルートの確認など、平常時からの水害への対応に関する活動

<4. 水利用の合理化・高度化・水と産業との係わり等に関する普及啓発活動>

水利用の合理化・高度化・水と産業との係わり等に関する理解を深めることを目的としたシンポジウム、セミナー、講演会、イベント、コンテストの開催、副読本・ビデオ製作及び活用、メディア広報による普及啓発活動

<5. 流域間・流域内交流>

河川・ダム等への理解を深めることや市民団体等による活動の活性化を目的として流域間・流域内など広域的な規模で実施する、シンポジウム、セミナー、研究会、講演会、イベント、コンテストの開催、ネットワークづくり、指導者育成、「子どもの水辺」登録箇所のネットワークづくりなど。

●対象地域

日本全国

●助成金額

審査の上決定

●募集期間

2012年11月30日18時までに当財団のホームページWEBサイトから、オンラインで申請してください。(E-mail、郵送またはFAX及び持参は受け付けません。)

●助成対象者決定時期

採否並びに助成金額は、学識経験者等をもって構成する河川整備基金運営審議会の議を経て2013年3月下旬(予定)に決定いたします。

採否の通知は、全ての申請者に対して、2013年4月初旬に行います。

◎助成金名称

公益財団法人生活協総合研究所：アジア生協協力基金2013年度助成金一般公募

◎HPのURL

<http://www.ccij.jp/jyosei/kikinkoubo121001.html>

◎助成対象

助成の対象となる団体は、日本国内のNGO、NPO、民間団体・グループなどで、助成の対象となる課題は、アジア・太平洋地域における協同組合、および住民の協同の力で社会的・経済的発展や問題解決を志している組織の人材開発や事業の立ち上げ支援とします。

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

助成金額の上限を1件あたり100万円/年とし、助成金額は審査により決定します。

◎募集期間

2012年10月1日～2012年11月30日まで ※当日消印有効

◆◆◆ 3. 2012年12月締め切り分助成金情報 ◆◆◆

現在インターネットで公表されている2012年12月募集締め切りの助成金情報です。

14団体紹介いたします。

●助成金名称

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局：2013年度防災教育チャレンジプラン募集

●HPのURL

<http://www.bosai-study.net/boshu/index.html>

●助成対象

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートいたします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが何うなどして相談などの支援を行います。

●対象地域

日本全国

●助成金額

一般枠：上限30万円

入門枠：上限5万円

●募集期間

2012年12月3日（月）15:00までに応募企画書を提出（事務局必着）

◎助成金名称

独立行政法人 国立青少年教育振興機構：

平成25年度 子どもゆめ基金助成金（子どもの体験活動・読書活動）

◎HPのURL

<http://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/index.html>

◎助成対象

1. 子どもを対象とする体験活動や読書活動

【体験活動】

(1) 自然体験活動

この分野では、子どもが自然の中で自然を活用して様々な遊びを行うことや、自然に触れ親しむ活動を行うことに重点をおきます。

- ・キャンプやハイキング、沢歩きなどの野外活動
- ・動植物や星空観察などの自然観察、環境保護活動
- ・農山漁村での農作物収穫や森、海での活動を含む生活体験など（自然物を使った工作や自然の中での音楽会といった文化・芸術活動、野外炊飯なども含む総合的な活動）

(2) 科学体験活動

- ・科学実験やものづくり活動など

(3) 交流を目的とする活動

この分野では、異年齢の子どもたち同士や、子どもたちと様々な年代の人たちが、ともに活動することでお互いの理解を深めることに重点をおきます。

- ・異年齢・異世代が交流する通学合宿、スポーツ活動、文化・芸術活動、プレーパーク活動、放課後居場所づくり活動など

(4) 社会奉仕体験活動

この分野では、子どもの社会性や豊かな人間性を育むため、社会に積極的にかかわる様々な幅広い活動を行うことに重点をおきます。

- ・地域の清掃活動や環境美化活動

- ・社会福祉施設等におけるボランティア活動など

(5) 職場体験活動

この分野では、子どもたちが働く意義や目的を探求し、育むことに重点をおきます。

- ・商店街での販売体験
- ・福祉事業所での介護体験など

(6) その他の体験活動

上記のいずれの分野にも該当しない体験活動または、活動の内容が(1)～(5)の3つ以上の分野が含まれ、主たる分野が判断できない活動

【読書活動】

- ・読み聞かせ会、読書会、お話し会
- ・絵本を用いたワークショップなど子どもが積極的に読書活動に取り組む意欲を育む活動

2. 子どもを対象とする体験活動や読書活動を支援する活動

【体験活動】

- ・指導者養成等（各種体験活動の指導者を養成する研修会、指導者やボランティアに対する体験活動の安全管理講習会など）
- ・フォーラム等振興普及活動（体験活動の振興方策を研究協議するフォーラムなど）

【読書活動】

- ・指導者養成等（指導的な読み聞かせボランティアを育成する講座など）
- ・フォーラム等振興普及活動（読書活動の振興方策を研究協議するフォーラムなど）

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

1活動あたりの助成金の額は、市区町村規模の活動は50万円、都道府県規模の活動は100万円、全国規模の活動は300万円を標準額（目安）としており、さらにそれぞれについて限度額があります。

◎募集期間

2012年9月14日～2012年12月5日（水）まで ※当日消印有効

●助成金名称

公益財団法人日本生命財団：平成25年度生き生きシニア活動顕彰

●HPのURL

[http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/sonota/h19\\_ikiikigaiyo.html](http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/sonota/h19_ikiikigaiyo.html)

●助成対象

助成の趣旨にある元気な高齢者が主体となつて行う地域貢献・社会貢献活動を定期的・日常的に取り組んでいる草の根的な民間の団体及びグループを助成対象とします。

<1.高齢者による児童・少年の健全育成活動>

→登下校時見守り活動、安全マップの作成、伝承芸能の継承、居場所作り 等

<2.高齢者による青年自立支援活動、障がい者支援活動>

<3.高齢者による高齢者支援活動>

→介護ボランティア、訪問ボランティア 等

<4.高齢者による地域奉仕活動>

→まちづくり活動、健康増進活動、環境保全・グリーンツーリズム活動 等

●対象地域

日本全国

●助成金額

1団体：5万円（一律）

●募集期間

都道府県によって異なります。（概ね2012年11月末頃を予定しています）

<都道府県別問い合わせ窓口一覧>

[http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/sonota/pdf/h24\\_todouhukentantouikkaichiran.pdf](http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/sonota/pdf/h24_todouhukentantouikkaichiran.pdf)

◎助成金名称

公益財団法人日本生命財団：

◎HPのURL

[http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/jidou/02\\_shinseihouhou.html](http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/jidou/02_shinseihouhou.html)

◎助成対象

子どもたちが育っていく過程においては、乳幼児期から青年期にかけて生活圏の中で日常的かつ継続的に「自然とのふれあい」や「人とのふれあい」を通じ、様々な実体験を重ねることが大変重要になってきております。

そこで、当財団では、次代を担う児童・少年が健やかに育っていくために、定期的かつ日常的に継続して行なっている次のような活動を対象として助成を行います。

<助成対象分野1：自然と親しむ活動>

この分野では、子どもたちが生活圏の中で日常的にまたは継続的に、土や水・動植物等の自然の中で遊び、親しみ、様々な実体験を重ねる中で生きる力を育むことを重点としています。具体的には、

1. 野外・自然体験活動(身近な自然、定期的なキャンプ活動等)、農園活動
  2. 自然観察(身近な自然、天体、鳥などの野生動物・河川等)、自然・森林の保護活動
  3. 野外活動を通してのジュニアリーダー育成活動
- 等を対象とします。

<助成対象分野2：異年齢・異世代交流活動（その1）>

これらの分野では、様々な年齢の子どもたちが「地域の中で継続的に交流すること」や、「共に活動する中で、お互いの個性を認めあったり理解を深めたりすること」を重点としています。具体的には、

1. 地域コミュニティ活動、ジュニアリーダー活動 他
  2. 中高生を中心とする居場所づくり活動
- 等を対象とします。

<助成対象分野2：異年齢・異世代交流活動（その2）>

これらの分野では、世代から世代へ受け継がれてきた地域に伝わる郷土芸能や伝承遊び・生活の知恵等を、伝承・保存する活動に重点をおきます。具体的には、

1. 伝承遊びや生活体験等の伝承活動
  2. 郷土芸能の保存・伝承活動
- 等を対象とします。

<助成対象分野3：子育て支援活動>

この分野では、「育児不安」に象徴される、地域の中で孤立して子育てをしてい

る親子が、子育てサークル等の地域活動に親子共に参加することによって、地域の中でネットワークを形成したり、地域で子どもを育てる環境づくりにつなげることを重点としています。具体的には、

1. 子育てサークルのように、親子で気楽に参加して情報交換をしたり、同じ年頃の子どもを持つ親として悩みを話し合える活動
2. 子育てサロンの運営など子育てネットワーク活動
3. 文庫活動、読み聞かせ、音読、人形劇活動を対象とします。

#### <助成対象分野4：療育支援活動>

この分野では、ハンディキャップ等の様々な個性をもつ子どもたちが、「混じり合い、群れとして遊んだり、地域の中で継続的に交流すること」や「共に活動する中で、お互いの個性を認めあったり理解を深めたりすること」を重点としています。具体的には、

1. 障がい(身体障がい・知的障がい・精神障がい並びに発達障がいを含む)のある子どもたちの療育支援活動
2. ノーマライゼーション推進活動等を対象とします。

#### <助成対象分野5：フリースクール活動>

この分野では、現在不登校の子どもたちの急増という社会状況の中で、不登校の子どもたちに対する多様な社会的支援の必要性がクローズアップされており、そうした社会要請に応えるべくフリースクール活動を具体的に実施している民間団体への支援を行います。具体的には、

1. 不登校の子どもたちへの教育支援活動
2. フリースクール運営活動を対象とします。

#### ◎対象地域

日本全国

#### ◎助成金額

1 団体当たり30万円以上60万円以内

#### ◎募集期間

都道府県によって異なります。(概ね2012年11月末頃を予定しています)

<都道府県別問い合わせ窓口一覧>

[http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/sonota/pdf/h24\\_todouhukentantouikkaichiran.pdf](http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/sonota/pdf/h24_todouhukentantouikkaichiran.pdf)

#### ●助成金名称

財団法人JKA：公益事業振興補助事業(東日本大震災復興支援補助)

#### ●HPのURL

<http://ringring-keirin.jp/shinsei/shikata/hojomenu/index.html>

#### ●助成対象

本財団は、被災者・被災地域において主体的に取り組む、その成果を還元するとともに、被災地域の復興・再生に寄与する活動を支援いたします。

- (1) 被災地域および被災者受入地域における支援拠点、ネットワークづくり活動
- (2) 被災地域および被災者受入地域における高齢者、児童、障害者等を対象とした生活支援(メンタルケア、教育支援等)活動
- (3) 被災地域の記録活動(後世への伝承、普及・啓発)



- (4) 実態調査、現在・将来にわたるニーズ調査活動（普及・啓発）
- (5) 被災者や被災地域が行う復興（まちづくり、くらしづくり等）活動
- (6) 被災者の自立支援、就業支援を目的とした活動

●対象地域

日本全国

●助成金額

1件あたり300万円以内

●募集期間

2012年11月19日（月）～2012年12月7日（金）午後5時まで

◎助成金名称

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団：2012年度（後期）市民講座開催への助成

◎HPのURL

<http://zaitakuiryo-yuumizaidan.com/main/jyosei.php>

◎助成対象

「医師・看護師・介護士など在宅医療に関係した職種の方と在宅で看取りをされた家族の経験談を通じて市民啓発に役立つ市民講座開催への支援及びアンケート調査」

原則として在宅看取りを経験した家族に参加頂き、発言の場を設けて下さい。

2012年2月～2013年8月末までの間に開催される上記内容の市民講座の開催を支援します。

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

助成総額：900万円（予定）、1件当たりの上限30万円

◎募集期間

2012年10月1日（月）～2012年12月7日（金）まで ※消印有効

●助成金名称

公益信託日本経団連自然保護基金：2013年度募集

●HPのURL

[http://www.keidanren.or.jp/kncf/fund\\_apply.html](http://www.keidanren.or.jp/kncf/fund_apply.html)

●助成対象

<1-1. 開発途上地域の自然保護活動>

以下の4条件を全て満たす活動

☆主としてアジア太平洋地域の開発途上地域において、自然保護を目的として実施される事業であること。とくに、生物多様性の保全を目的とした事業を優先する。

☆事業対象地の行政機関、関係国際機関、非政府組織及び地域住民などからも応分の協力が得られること。

☆その成果が特定の団体や個人の利益に資するものではないこと。

☆事業が科学的知見を持つ専門家により実施されるか、または事業の実施にあたり科学的知見を持つ専門家からの助言・協力が得られること。

<1. 日本国内の野生動植物の保護繁殖活動>

(1) 以下の3条件を全て満たす活動

ア. 下記のいずれかに該当すること。

- A. 野生動植物の保護繁殖を図るための施設等の整備事業
- B. 野生動植物の生息・生育環境の改善に関する事業
- C. 野生動植物の保護繁殖思想・保護繁殖技術の普及啓発等
- D. 野生動植物の生息・生育等に関する調査、保護繁殖手法等の研究

イ. その成果が特定の団体や個人の利益に資するものではないこと。

ウ. 事業が科学的知見をもつ専門家により実施されるか、または事業の実施にあたり科学的知見を持つ専門家からの助言・協力が得られること。

(2) なお、東日本大震災被災地域における生物資源の再生に資する事業は、野生動植物の保護繁殖活動として、助成対象とします。

## <2. 日本国内の自然保護活動>

(1) 以下の4条件を全て満たす活動

ア. 下記の地域に係る自然保護を目的として実施される事業であること。とくに生物多様性の保全を目的とした事業を優先する。

- A. 自然環境保全法
- B. 自然公園法
- C. 古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法
- D. 首都圏近郊緑地保全法
- E. 近畿圏の保全区域の整備に関する法律
- F. 明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法
- G. 都市計画法（風致地区に限る）
- H. 都市緑地保全法

イ. 事業対象地の行政機関、関係公的機関、他の公益団体・非政府組織及び地域住民などからも応分の協力が得られること。

ウ. その成果が特定の団体や個人の利益に資するものではないこと。

エ. 事業が科学的知見をもつ専門家により実施されるか、または事業の実施にあたり科学的知見を持つ専門家からの助言・協力が得られること。

(2) なお、東日本大震災被災地域における自然環境の再生に資する事業は、生物多様性の保全の基礎となる活動として、助成対象とします。

### ●対象地域

日本全国j

### ●助成金額

標準金額の定めはありません。

(申請活動の内容・収支計画を考慮して助成金額を決定します。)

### ●募集期間

2012年10月1日(月)～2012年12月10日(月)まで ※締切日当日受信分有効

### ◎助成金名称

特定非営利法人Fathering Japan (ファザーリング・ジャパン) : タイガーマスク基金

### ◎HPのURL

<http://www.tigermask-fund.jp/howto.html>

### ◎助成対象

タイガーマスク基金は、児童養護施設などの退所者や社会的養護が必要な子ども・若者に、生活自立、学業、就労、家族形成、社会参画などの支援を総合的に行い、社会で活躍する人材を育成するとともに、広く一般にこの問題を提起し、児童養護施設や自立援助ホームなどが抱える課題、係る法律・政策の改善、ひいて

は児童虐待予防の啓発事業などを展開し、この問題の根本解決を図ることを目的とするNPOです。

自立支援金の給付事業を柱に事業を展開していますが、社会的養護が必要な子ども・若者に「可哀想だから支援をする」のではなく、「人生の可能性と楽しさを伝える」ことを基本理念とします。

タイガーマスク基金は、

1. 児童養護施設の退所者本人
2. 児童養護施設などを退所する児童の主に自立支援をしている法人を対象に給付いたします。

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

1法人につき最大50万円まで。

◎募集期間

2012年10月1日（月）～2012年12月10日（月）まで ※締切日必着

●助成金名称

NPO法人高木仁三郎市民科学基金：2013年度助成

●HPのURL

<http://www.takagifund.org/apply/index.html>

●助成対象

高木基金が助成する調査研究・研修は、前記の市民科学の実践として、次の要件を満たすことが望まれます。

- ・市民社会や地球環境の脅威となる科学技術や、それに関わる社会政策の問題点等を追究するもの。
- ・専門性に裏付けされた想像力と構想力を持ち、調査研究・研修の方法論や実施計画、予算などが合理的であるもの。
- ・調査研究・研修の成果を、市民社会に還元する方法や、政策転換を求める道筋などを具体的に展望しているもの。
- ・今回の調査研究・研修のみにとどまらず、将来にわたって、市民科学者を目指して努力していく意志を持っているもの。

※2013年度は、特に、今後の脱原発社会をどのように構築するか、という視点で取り組まれる調査研究、政策提言、キャンペーン活動などを重視します。（これは、この問題にかかわる調査研究にテーマを限定するということではなく、市民科学にふさわしいテーマであれば、これ以外の分野の調査研究も、従来同様に助成の対象とします。）

●対象地域

日本全国

●助成金額

1件あたりの金額は、原則として100万円を上限とします。

●募集期間

2012年11月1日～2012年12月10日まで ※当日消印有効

●助成対象者決定時期

- ・選考委員会で書類選考を行い、結果を2013年1月末頃までに応募者全員に通知

します。

- ・書類選考通過者には、2013年2月中旬頃に都内で実施する公開プレゼンテーションに参加し、自らの調査研究計画を発表していただきます。
- ・公開プレゼンテーションの内容を踏まえて、高木基金の理事会で助成先の最終決定を行い、2013年3月初旬までに助成先を発表します。

◎助成金名称

公益財団法人日本社会福祉弘済会：平成25年度社会福祉助成

◎HPのURL

<http://www.nisshasai.jp/fukusijyoseijigyo/jyoseiyokou-H25.html>

◎助成対象

1. 社会福祉関係者の資質向上に関する研修や研究（下記(A)～(D)の対象事業から1つ選択。）

(A) 集合研修

福祉サービスのあり方や専門的知識、技能の習得などをテーマとして開催される集合研修事業（研修会、セミナー、講演会など）

(B) 派遣研修

福祉施設職員などが幅広い視野と専門性を持って支援業務に携わるために、他の福祉施設、団体などで一定期間実習する派遣研修事業

(C) 実践研究

各福祉分野の先駆性ある事業の実践を通して行われる成果、課題のまとめなどの実践研究事業

(D) 調査研究

社会福祉関係者の専門性の向上、現任訓練の方法や体系、また就労、福利厚生などをテーマとする調査研究事業

2. 社会福祉事業でそのテーマや内容に先駆的要素またはパイロット性があるもの  
3. 事業の目的が明確で、実施後の具体的な成果が充分期待できるもの

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

助成金総額：2000万円以内

一案件につき、助成対象経費合計の80%以内かつ50万円以内で助成します

◎募集期間

2012年11月1日（木）～2012年12月12日（水）まで ※締切日消印有効

◎助成対象者決定時期

申請案件は本会「選考委員会」（2月開催予定）の選考を経て、理事会（3月）で決定します。選考結果は、採否に関わらず3月に各申請団体に書面にて通知いたします。

●助成金名称

公益財団法人日本国際協力財団：2013年度国際協力NPO助成

●HPのURL

<http://www1.tcn-catv.ne.jp/jicf/subsidy.html>

●助成対象

この助成は、開発途上国における農業、教育、医療、福祉等の問題解決のために、現地の人々とともに活動しているNPOに対して、プロジェクト費用の一部を助成してその活動を支援し、もって開発途上国の自立的発展及び福祉の増進に寄与することを目的としています。

助成の対象は、次の要件を全て満たすプロジェクトに限ります。

(1) 原則として2013年4月1日以降に着手し、2014年3月31日までに完了すること。ただし、実施が2年以上に及ぶ場合は、当年度および中長期の計画を提出すること。

(2) 実際に開発途上国に入り、現地の人々と一緒になって活動すること。

(3) 次のいずれかの分野に該当すること。

- ・ 農業・農村開発
- ・ 教育振興、人材育成
- ・ 医療・保健改善
- ・ 生活環境改善
- ・ その他、開発途上国の民生・福祉に寄与するもの

※文化・スポーツ・学術分野および災害緊急援助は対象となりません。

(4) 施設・物品の寄贈が主たる内容でないこと。

(5) 現地の状況・ニーズの調査が十分実施されていること。

(6) 実施に当たって、現地政府や住民等と十分な調整が実施されていること。

(7) 完了後のフォローアップと評価が十分計画されていること。

●対象地域

日本全国

●助成金額

プロジェクト費用総額の30%以上70%以内で、最高150万円までとします。

●募集期間

2012年11月12日（月）～2012年12月14日（金）まで ※締切日必着

◎助成金名称

公益財団法人日立環境財団・株式会社日刊工業新聞社：平成25年度環境賞

◎HPのURL

<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/works/work01.html>

◎助成対象

環境保全に関する調査、研究、開発、実践活動等で画期的な成果を挙げ、または今後成果が期待される個人、法人、またはグループ。（自薦、他薦を問わない。）

<対象となる調査、研究、開発、実践活動の例>

- ・ 大気汚染、水質汚濁等いわゆる典型7公害及び廃棄物（除く、放射性廃棄物）に関するもの
- ・ 環境汚染のメカニズム、環境破壊の予知・予測及び環境影響評価に関するもの
- ・ 環境の質の向上及び維持に関するもの
- ・ 環境の管理に関するもの
- ・ 自然環境の保全に関するもの
- ・ 地球環境保全に関するもの 等

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

優秀賞（副賞100万円）

優良賞（副賞50万円）

◎募集期間

2012年10月1日～2012年12月21日まで ※当日消印有効

◎助成対象者決定時期

2013年5月中旬 日刊工業新聞紙上および当財団ホームページにて発表

●助成金名称

神戸市垂水区：魅力アップ活動助成

●HPのURL

<http://www.city.kobe.lg.jp/ward/kuyakusho/tarumi/keikaku/gaiyou/>

●助成対象

垂水区役所では、よりよい地域づくりに向けて、区民のみなさんが地域課題の解決のために、自ら企画・提案・実施する活動について、経費の一部を助成し支援しています。みなさんも地域活動をはじめませんか？

●対象地域

神戸市垂水区

●助成金額

垂水魅力アップ活動助成では、活動のための準備・企画段階を「準備期」、実践する段階を「実践期」、実践期後の活動基盤を安定させる段階を「自立支援期」とし、活動の状況に応じて助成を行います。

<1. 準備期>

準備・企画段階にあり、且つ、過去に本制度に基づく助成を受けたことがない活動を対象にした助成です。総活動費の範囲内で5万円を上限として、同一活動に対して1回に限り助成を行います。書面審査により助成を決定します。但し、予算の範囲内で助成を行うため、申請期間中であっても助成の受付を終了することがあります。

<2. 実践期>

実践段階にある活動を対象にした助成です。総活動費の範囲内で1回あたり30万円を上限として、同一活動に対して3回を限度に助成を行います。書面による要件審査（第1次審査）の後、審査委員会による第2次審査の結果に基づき、助成を決定します。なお、第2次審査にあたり、公開企画提案会において活動の企画提案をしていただきます。

<3. 自立支援期>

実践期による助成の期間を終了し、且つ、助成期間終了後2年以内で活動基盤を安定して自立する段階にある活動を対象にした助成です。総活動費の範囲内で1回目は5万円、2回目は3万円を上限として、同一活動に対し2回を限度に助成を行います。書面による要件審査（第1次審査）の後、審査委員会による第2次審査の結果に基づき、助成を決定します。

●募集期間

準備期：2012年3月1日～2012年12月28日まで

実践期・自立支援期：2012年3月1日～2012年4月27日まで

◎助成金名称

公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団

◎HPのURL

<http://www.yonex.co.jp/zaidan/joseikin.html>

◎助成対象

青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している、次の要件を満たした団体とします。

(1) スポーツ振興を主たる目的とする公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人又は一般財団法人

(2) 上記以外の団体で、次の要件を備える団体（特定非営利活動法人等）

1. 定款、寄附行為またはそれらと同等の規約があること。
2. 団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること。
3. 経理処理能力があり、監査する等の会計組織をもっていること。
4. 団体活動の本拠としての事務所をもっていること。

◎対象地域

日本全国

◎助成金額

年度内に予定する一つの事業予算の2分の1で概ね100万円以内とします。

◎募集期間

<前期>

対象期間：2013年4月～9月及び平成25年度の年間を通じた事業

申請期限：2012年12月31日まで（当日消印有効）

<後期>

対象期間：2013年10月～2014年3月の事業

申請期限：2013年6月30日まで（当日消印有効）

◎助成対象者決定時期

前期：交付決定：2013年2月28日（予定）

後期：交付決定：2013年8月31日（予定）

◆◆◆ 4. 随時募集している助成金 ◆◆◆

締め切り日を特に設けず随時募集している助成金の一覧です。

Webサイトにてご確認ください。

<http://www.npo-joseikin.com/zuiji/index.html>

東日本大震災に関連する助成金はコチラ

<http://www.npo-joseikin.com/zuiji/shinsai.html>

◆◆◆ 5. NPO法人向け融資制度のお知らせ ◆◆◆

労働金庫のNPOサポートローン一覧

<http://www.npo-joseikin.com/yuusi/index.html>

その他金融機関のNPO法人向け融資制度一覧

<http://www.npo-joseikin.com/yuusi/page002.html>

日本のNPOバンク一覧

<http://www.npo-joseikin.com/npo-bank/index.html>

自治体のNPO法人向け融資制度一覧

<http://www.npo-joseikin.com/jititai/index.html>

助成金メール通信 1 月号は以上です。  
最後までお読み頂きありがとうございました。